

主体性を支える支援ツールの研究・開発

— 研究発表会 —

開催趣旨

現在、成年後見制度の利用は年間4万件に満たない。

家庭裁判所を窓口とした申し立てに至る事務手続きの煩雑さはもちろん考慮されるが、同時に制度の利用を検討される親族、支援機関の成年後見人への不信感は無視できない要素ではないでしょうか。

こうした意識が生まれる背景を鑑みたとき
私たちは今、成年後見人と利用者間に生まれる関係性を
改めて見つめなおす時期に来ているのではないかと。

こうした視点に立って、成年後見人のあり様を見つめたとき
利用者の思いに寄り添い、その主体性を支えるものであれば
成年後見制度を利用する方々のQOLを高めることに繋がるはずと。

今、成年後見人の職責を担う多くの専門職、市民後見人の声を拾い、分析し
形にしたものが今回発表する「**主体性を支える支援ツール**」です。

利用者との関係性をより良いものに。
また、関係の改善を模索する成年後見人の現場に
この成果を届けたい。



詳細は裏面へ

参加対象

- ▷ 現在、成年後見人を受任している専門職・法人・市民後見人
- ▷ 後見活動に興味のある福祉、医療関係者

プログラム

1 主体性を支える支援ツールの研究報告

四天王寺大学教授 笠原 幸子氏

2 主体性を支える支援ツールの実践報告

～後見支援の現場に意思決定の視点を～

- 1 一般社団法人とよの権利擁護支援センターとも
- 2 NPO法人権利擁護たかつき

3 パネルディスカッション ～後見支援のかたわらに、意思決定支援を～

進行 四天王寺大学 教授 笠原 幸子氏

登壇者 久岡法律事務所 弁護士 久岡 英樹氏

認定NPO法人あさがお 事務局長 近澤 貴徳氏

大阪手をつなぐ育成会 支援センターい～な 社会福祉士 上野 葉子氏

4 活動予告 ～これからの大阪法人後見協議会～

特定非営利活動法人 NPOかなびの丘 北中 大輔氏



日時 場所

令和6年3月2日(土) 13:00～16:00 (開場12:30)

あべのハルカス / 23階 研修室

募集定員

40名

参加費

無料

申し込み 方法

2月19日(月)までに**メール**又は**二次元バーコード**からお申し込みください。
(メールでお申し込みの際は【所属先】【職種】【氏名】の明記をお願い致します。)

✉ osaka.hojinkoken@gmail.com



ここから手軽に
申し込みます！